

加賀市地域公共交通計画（案）に対する意見公募結果について

加賀市地域公共交通計画（案）について、下記のとおり意見公募（パブリックコメント）を行ったところ 17 件のご意見が寄せられました。

記

意見公募の概要

案件名	加賀市地域公共交通計画（案）
公募期間	令和 4 年 3 月 4 日（金）～令和 4 年 3 月 17 日（木）
供覧資料	加賀市地域公共交通計画（案）
周知方法	市ホームページ、スマートシティ課（地域デジタル化チーム）、山中温泉支所、各図書館、各地区会館で供覧
提出方法	持参、郵送、ファクシミリ、電子メール

意見公募の結果

17 件（7 名）

詳細は以下のとおり

加賀市地域公共交通計画（案）パブリックコメント一覧

番号	意見の概要	意見に対する考え方
1	<p>ノーマイカーデーについては、公共交通が広く通勤に対応しているとは言えないため、参加できない企業や団体が生じることからまずは通勤に対応できる環境づくりが重要だと思う。</p>	<p>ノーマイカーデーの呼びかけについては、自家用車の利用の抑制により、公共交通の利用促進の他、混雑時間帯の緩和、事故防止、温暖化の防止などの意味合いがございます。</p> <p>ただ、様々な状況が考えられますので、一律に呼びかけを行うのではなく、まずは公共交通の改善や充実に取り組む中で進めてまいりたいと考えております。</p>
2	<p>市内に循環バスを運行してほしい。</p>	<p>観光周遊目的のバスであります。現在もキャンバス海まわり線・山まわり線が運行しております。こちらは市民の方も回数券でご乗車になれるバスです。</p> <p>しかしながら、加賀市は施設等が点在する拠点が、大聖寺・山中・山代・片山津・作見・動橋・橋立など広く分散しており、周遊させる場合には乗車時間が非常に長くなっており改善と考えております。循環方式も含めて、使いやすくなるようバス路線の再編を考えてまいります。</p>
3	<p>山中温泉から大聖寺に行くために乗り換えなしのバスを運行してほしい。</p>	<p>バス路線に関しましては、利用状況を見つつ見直しを検討させていただきたいと考えております。</p> <p>山中温泉地区から大聖寺への直通の公共交通に関しましては、令和3年10月よりのりあい号のエリア横断便の運行を開始しており、こちらをご利用で山中温泉地区と大聖寺地区の特定の施設間を直接移動できます。よろしければ利用をご検討ください。</p>
4	<p>山中菊の湯前の空気をバスターミナルにしてほしい。</p>	<p>バスターミナルの移設につきましては、都市計画やまちづくりに併せて検討していくものと捉えております。</p>

		いただきましたご意見については、今後の施策の参考にさせていただきます。
5	山中温泉から大聖寺に行くために乗り換えなしのバスを運行してほしい。(3と同じ意見)	3の回答と同じです。
6	急病になったときに予約の必要な乗合タクシーは使えるか、夜間だったらタクシーの代わりに救急車は使えるかということを見ると、免許が返納できない。 日々の通院でも医療センターまでバスでは430円の往復分運賃が必要で、その他に市民会館や地区会館、図書館など乗り継ぎが必要な場所が多く、料金や所要時間で不便が多いので対策が必要。	加賀市は施設等が点在する拠点が大聖寺・山中・山代・片山津・作見・動橋・橋立など広く分散しているため、それぞれを直通で結ぶ公共交通の運行が難しくなっております。 そのため、加賀温泉駅を中心に各路線をつなぐことで、各方面に移動していただける公共交通のネットワークとしております。 どうしても乗り継ぎは必要になりますが、本計画に基づいて乗り継ぎ待ち時間の短縮やフリーパス券の発行など利用者の利便性を高める改善に努めたいと考えております。
7	金沢市など他の市では無料でのれるバスや100円、200円といった割安な市内循環バスがある。商業施設と共同で運行することや高齢者の半額料金を導入するなど対策が必要。	ご意見を参考とさせていただき、運行を持続的に維持するために必要な運賃の適切性と、フリーパス券の導入等による割安な料金形態による利用のしやすさの向上の両面から対策を検討してまいります。
8	山中在住の者です。車を持っておらずお金もありません。プールにどのように通えばよいのか。 新幹線ももうすぐきます。加賀温泉駅から山中、山代、片山津、粟津へ同一でいいはずです。	加賀温泉駅を核とした移動しやすい公共交通とするため、本計画に基づいて路線の再編についても検討してまいります。
9	健康で長生きするためにも外出機会を創出できる公共交通が必要です。 他の市町のように市内を均一料金で走るコミュニティバスによって、どこに住んでいても便利な公共交通にしてく	市域が広いと、循環コミュニティバスでは乗車時間が長くなりすぎることから、加賀温泉駅を中心に各路線をつなぐ交通のネットワークとしております。 今後につきましては、コミュニティバス

	ださい。	ではありませんが、バスやのりあい号の均一料金の導入や乗り換えがスムーズにできるようにすることで、外出していただきやすい交通体系の構築を進めてまいります。
10	のりあい号の通常便について、土日の便数が少なく利用しにくいので増便してほしい。	土日につきましては、のりあい号の主な利用目的である通院のための利用ないことなど、平日に比べて1便当たりの利用数が低い状況であるため、現状では増便は難しいと考えておりますが、今後も利用数の動向を見つつ検討をさせていただきたいと考えております。
11	のりあい号の通常便、エリア横断便について、停留地点に石川病院前を加えてほしい。	のりあい号の通常便は、あらゆる店舗や公共施設を目的地としてご利用していただくことができます。石川病院前でも下車していただけますのでどうぞご利用ください。 エリア横断便は、まだ運行を開始して半年でありますので、今後も状況を踏まえながら停留所の追加を検討してまいります。

参考ご意見（市外の方の意見につきまして参考ご意見とさせていただきます）

番号	意見の概要
1	ユニバーサルデザインフォントを使うとよいと思う。
2	加賀市は令和2年7月にSDGs未来都市の選定を受け、同年8月にSDGs未来都市を策定している。関連計画として明記すべき。
3	MaaSアプリを活用したわかりやすい公共交通利用情報の整備・運用について、多言語による説明を明記するほか、観光客への対策をわかるように記載すべき。
4	駅・停留所におけるバリアフリー化について、通路やトイレ等と具体的な整備箇所を明記すべき。
5	期待される効果は交通結節機能の向上や高齢者等のモビリティの強化によって利用が促進され、満足度が向上する起因関係があるので、関係がわかりやすいように内容を整理すべき。
6	加賀市の公共交通ご利用ガイド以外に、例えばキャンバスと鉄道の結節情報がJR

	おでかけネットに掲載されていないなどがあるので、情報の充実について明記するべき。
--	--